

令和 6 年 第 3 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	赤 井 睦 美	<p>1. 八雲町公共施設等総合管理計画は現状に合っていますか？</p> <p>2. 『立地適正化計画』の進捗状況は？</p>	<p>先日の文教厚生常任委員会で、熊石地域の小学校と中学校が1年生から9年生までの義務教育学校への検討の報告を受けました。</p> <p>私はもともと施設一体型の義務教育学校を是非推進すべきという考えで、以前一般質問もさせていただきました。しかし、その時の町長の答弁は「八雲町公共施設等総合管理計画」を策定し分類ごとの基本方針を定めつつ、2046年度までに建物の延床面積を削減することで、建物全体の更新費用を、40%削減することを目標としている。このうち、学校教育施設に関しては、児童数に合わせて統廃合による延床面積の削減を検討し、費用削減を図り、また、防災上の観点から、災害時の拠点、避難場所としての役割もあるため、廃校舎の存続方法については、2046年度までに更新費用を45%削減することとしている。将来的な児童数の推移なども勘案した中で、改修が必要であると判断した」でした。また、教育委員会では「施設一体型の形態を適用できるのは、小学校・中学校それぞれ1校ずつで小中一貫型コミュニティ・スクールを導入している、落部小中学校及び熊石小中学校と考えるが、両中学校区ともに向こう5年間の児童生徒数に大きな減少はなく、また、空き教室が少ないという状況からも、いずれかの校舎に受け入れることは不可能であるとともに、新たな校舎を建築するとなると莫大な費用が必要となることから、大規模改修工事を行い、長寿命化を図ることが望ましいと考えている」と答弁をいただきました。この計画には『複合化や集約化も想定している』と書かれていますが、本当に八雲町の現状に合っているのでしょうか？町長にお伺いします。</p> <p>ネットワーク型コンパクトシティの実現のため2014年『立地適正化計画』を策定されました。そこには、まちづくり方針及び目指すべき都市構造として、7つの必要性があげられています。策定から10年。この計画はどこまで進んでいるのかお伺いします。</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	佐藤智子	1. 福祉タクシー助成事業の拡充を	<p>現在、福祉タクシー事業は、障がいのある方も該当するが、主に75歳以上の町民税非課税世帯が対象とされている。</p> <p>年間1万2千円以内で令和5年度の予算は814万5千円、今年度の予算は919万6千円である。</p> <p>車を持たない高齢者の外出機会を増やし、社会との接点を多くすることは介護予防や健康増進にもつながると言われている。</p> <p>これまでも町は機会をとらえて、金額や年齢枠を拡充してきた。</p> <p>上記のことから、非課税世帯に限らず、課税世帯に対してもタクシーチケットを配布する意義があるのではないかと考えを伺う。</p>	町長
		2. 地域猫との共生社会をめざして	<p>地域で暮らす猫は、畑や花壇に入り込み、糞尿をして迷惑をかける場合がある。繁殖を繰り返して増えていく場合もある。</p> <p>避妊手術や去勢手術を善意で行っている人は動物病院へ連れていき費用は全額自己負担している。その金額はオスで1万1千円から1万6,500円。メスなら2万2千円から2万5,300円と高額である。</p> <p>「公益財団法人どうぶつ基金」では「さくらねこ無料不妊手術事業」を行っている。この法人は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、全国の行政と協同して無料不妊手術の申請受付けなどを実施している。</p> <p>地域住民と地域猫が共に幸せに暮らせる社会をめざして、「公益財団法人どうぶつ基金」と共同で無料不妊手術事業に参画してはどうか。</p>	町長
		3. 進化する再生可能エネルギー	<p>(1) 「ペロブスカイト」という折り曲げられる太陽光発電パネルをご存知だろうか。これだと屋根や壁、ガラス上にも設置可能で、耐用年数を過ぎたときの処理もしやすい。役場庁舎の太陽光パネルとして採用してはどうか。</p> <p>(2) 十勝の鹿追町に家畜由来の「バイオガス」からLPガスを生産する実証試験を行うプラントが建設されることになった。8月8日には起工式が行なわれたと報道された。鹿追町はおとし、東京の企業と協定を結び、家畜の糞尿由来のバイオガスからLPガスを製造するための技術開発を進めてきたという。再来年から年間で最大200トンのLPガスの製造を始める計画だ。</p> <p>八雲町でも青年舎を含めて、他の酪農家にも声をかけ、バイオガスを利用したLPガ</p>	町長

		<p>4. 市街地に公衆浴場を！</p>	<p>ス製造の研究に着手してはどうか。</p> <p>「八雲市街地に銭湯がほしい！」という声に、どう応えるか。</p> <p>7月22日の議会報告会（はぴあ会場・昼の部）において、このことが議題になったとき、「必要だ」「協力したい」「無いのは不健全だ」と5人の議員が答えている。</p> <p>元町の旧昭和湯を民間が「再開させる」と言ってから何年経ただろう。相手が民間の方だけに再開が困難なのは重々承知している。しかし、町民の福祉と健康を増進させる立場として町も議会もこのままで良いとは思っていないはずである。わたしたちに選択肢があるとするれば、どういうことがあげられるだろうか。いくつか考えてみた。</p> <p>①当事者である民間事業者に旧昭和湯再開を再度お願いし、協力を申し出る。</p> <p>②シルバープラザの温泉を復活させる。</p> <p>③3億から4億円かけて新役場庁舎の敷地内に町民の憩いの場としての銭湯を新設する。（人口約7千人の足寄町では昨年4月に町営温泉をオープンさせた。『高齢者が集う「憩いの場」と町民や旅行者の皆さんが気軽に立ち寄り時間を過ごせる「くつろぎ場」を兼ね備えた施設となることを目指す』と足寄町広報にねらいが書かれている。）道南でも町営や指定管理者運営の楽しい温泉施設がたくさんある。</p> <p>現状維持を飛び出してもらいたいと思うが、町長の考えを伺う。</p>	<p>町長</p>
--	--	----------------------	--	-----------

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	三澤公雄	1. 町内の「交通安全度」を上げるためにすべきこと	<p>3点を取り上げる。議場で皆さんと共に考えてみたい。</p> <p>(1) 町内に一時停止線や白点線が「見えなくなっている」交差点が散在している。引き直しの頻度はどうなっているのか。引き直しは計画的にやるべきでは？</p> <p>(2) 町内の国道・道道・町道の一部に“植栽帯”が設置されているところがあるが…管理責任はどこにあるのだろうか？キレイに管理されているところと全く放置されているところに二分される。伸びた草や低木の伸びた枝などでドライバーから歩行者が全く見えない場所やわき道からの進入時に左右の安全確認のできない場所もある。交通安全上、不適切な状態が町内で放置されている。これらをどう考えているのか？</p> <p>(3) 高齢者ドライバーの免許返納について…「免許返納したら“足”が無くなる」ということに対して、八雲町はまだ“解”を持っていない。なので高齢者ドライバーの安全対策も急務と考える。 ジェネクト社の開発した“AIーコンタクト”というアプリは、GPSを活用して45日間の運転記録をつくり、ドライバーの運転技能の劣化を計る。この企業と連携し、町ぐるみでアプリを導入して免許返納を単に年齢で区切るのではなく、ドライバー自身の技能の劣化を“見える化”することによって、合理的な判断が下されると考える。また、判定結果を自動車学校などと共有するならば、運転技能の再学習などの機会として活用もできるだろう。このアプリを活用すれば「本当に返納が必要なドライバー」と「安全意識と技能が向上したドライバー」に色分けできる。 安全を確保して免許返納者が減るのであれば、“一挙両得”ではないだろうか。いかがだろうか？</p>	町長
		2. 正職員と会計年度任用職員の待遇差について	<p>正職員と会計年度任用職員では「働く上での権利」に差があるが、労働契約法が改正されている。有期契約労働者と無期契約労働者との間で、期間の定めのあることによる不合理な労働条件の相違を設けることは禁止！！になったはずだが、この差はどうしてあるのだろうか。</p>	町長
		3. 早期離職対策に工夫を！	<p>若手職員（勤続0から10年）に対して、今後のキャリア形成への希望や目標等について人事部門と直接に意見交換のできる機会を作ったらどうだろうか。 特に3年以内の若手なら自らの属する部署や同期以外に“相談しやすい人脈（先輩）”ができることは有意義だろう。</p>	町長

			<p>ガス抜きや場合によっては“隠れたパワハラ”を摘む機会にもなると思う。 何か考えているのだろうか。</p>	
--	--	--	---	--

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	横田喜世志	1. ホタテ貝殻の活用について	<p>熊石ふれあい広場にホタテ貝殻を混ぜたアスファルト舗装として活用しました。余っているホタテ貝殻を有効利用するため土壌改良材として販売されているが、粉状のため扱いづらくなっている。</p> <p>7月29日付けの農業新聞に北見市常呂町で粒状の有機石灰が開発され石灰散布の作業効率が向上したと書かれている。</p> <p>(株)常呂町産業振興公社では、現在、特許申請中のため、今後、八雲町と協力・共同での工場誘致などの展開を進められないか。</p>	町長
		2. 運転免許証の自主返納支援事業の拡充を	<p>高齢ドライバーの事故が未だに多く見受けられる。</p> <p>八雲町は面積が広く車が必要な地域に住んでいる方々があります。不便解消のための支援策を何か考えるべきではないか。</p> <p>例えば、現在ハイヤー利用券毎年1万円を3年間限度として運用しておりますが、金額は2倍程度で地域性を考えて、市街地との平準性、均衡により積算方法を見直すことはできないのか。</p>	町長
		3. エアコンの利用に補助を	<p>昨年的高温を受け、小学校・中学校のエアコンの設置が進んでいる。</p> <p>今年も各地で熱中症による死亡者が増加しています。しかし、生活保護世帯や非課税世帯はエアコンの設置は難しい状況としますので、町の補助制度により設置する方向を考えることができないか。</p>	町長